

教科目標

作業療法士学科（昼間3年制）

養成目的

本学科は、本校の建学の理念である「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」に基づき、「病院・施設から在宅・地域へ」のシステムの構築が進む中、時代と社会と地域に即した作業療法士を養成する。

教育目的

卒業時点までに獲得すべき3つの能力を、「目的志向・思考力」：問題解決する力、「実行力」：あらゆる手段を講じられる力、「コミュニケーション力」：関係者と連携する力を兼ね備え、本校卒業後も絶えず自己研鑽を続ける自立した職業人になる基盤を育成する。

学年（学期）目標

学年	到達目標
1年次	・解剖学・生理学・運動学等の教科を通して、医療人に必要な基礎能力を育成する。 ・社会人として必要な礼儀やコミュニケーションのとり方など、学校生活や行事を通じて態度を身に付ける。

前期	①人や健康に対する関心や作業療法士として地域社会に貢献したいという意欲を育む。 ②準備、片付けなどが率先して行動でき、挨拶や礼儀作法などの接遇を身に付ける。 ③社会人として必要な体調、時間、情意などの自己管理能力を身に付ける。 ④最適な学習方法と日々の学習習慣を確立し、解剖学・生理学・運動学などの基礎知識を習得する。
後期	① 医療従事者として必要な気構え、身構え、心構え、他者の考えや思いを理解しようとする謙虚な姿勢を持つ。 ②チーム医療に必要な協調性やコミュニケーション力を身に付ける。

学年	到達目標
2年次	・作業療法士が対象とする障がいや疾病についての知識を習得し、その治療法を習得することで作業療法の技術を身に付ける。 ・評価実習において実習生としての態度を考え、臨床現場にふさわしい立ち居振る舞いができるようにする。

前期	<p>①一年で学んだ基礎知識の理解を深め、臨床医学と作業療法治療学の知識を習得する。</p> <p>②正確性、再現性の高い検査・測定技術など作業療法の技術を高める。</p>
後期	<p>①海外研修でグローバルな視野や作業療法への探究心を育む。</p> <p>②実習に適した姿勢や態度を身に付け、自己管理能力を高める。</p> <p>③臨床思考過程能力を高め、エビデンスに基づいた作業療法の実践を段階的に学び身に付ける。</p>

学年	到達目標
3年次	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床実習においてこれまでの医学的知識を利用し技術を学び、様々な状況に対応できるような応用的能力を身につける。 ・課題研究を通して作業療法に関する探究心を育て、積極的に作業療法に取り組めるような態度を育む。 ・臨床実習、就職フェア、キャリアセンターを活用し、常に自己研鑽を続ける職業人としての態度・姿勢を身に付ける。

前期	<p>①社会人として姿勢、態度、自己管理能力、コミュニケーション力を高める。また作業療法士として対象者を理解する能力を高める。</p> <p>②臨床実習でエビデンスに基づいた作業療法の実践を学び、臨床思考過程能力を高める。</p>
後期	<p>①研究発表で作業療法への探究心、チーム医療に必要な協調性とプレゼンテーション力を高める。</p> <p>②国家試験合格のため、基礎知識・応用知識など作業療法に必要な学問の集大成を図る。</p> <p>③地域に即し、即戦力として期待される作業療法士になるべく、作業療法への探究心・姿勢・態度・知識・技術・コミュニケーション力・グローバルな視野の集大成を図る。</p>

取得目標資格

作業療法士国家試験受験資格

就職分野

一般病院（リハビリテーション科、デイケアセンター等）、リハビリテーション病院、精神科病院、診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、障がい児入所施設、訪問看護ステーション、行政機関、教育機関、福祉用具・機器関連機関 等

職種

作業療法士